

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

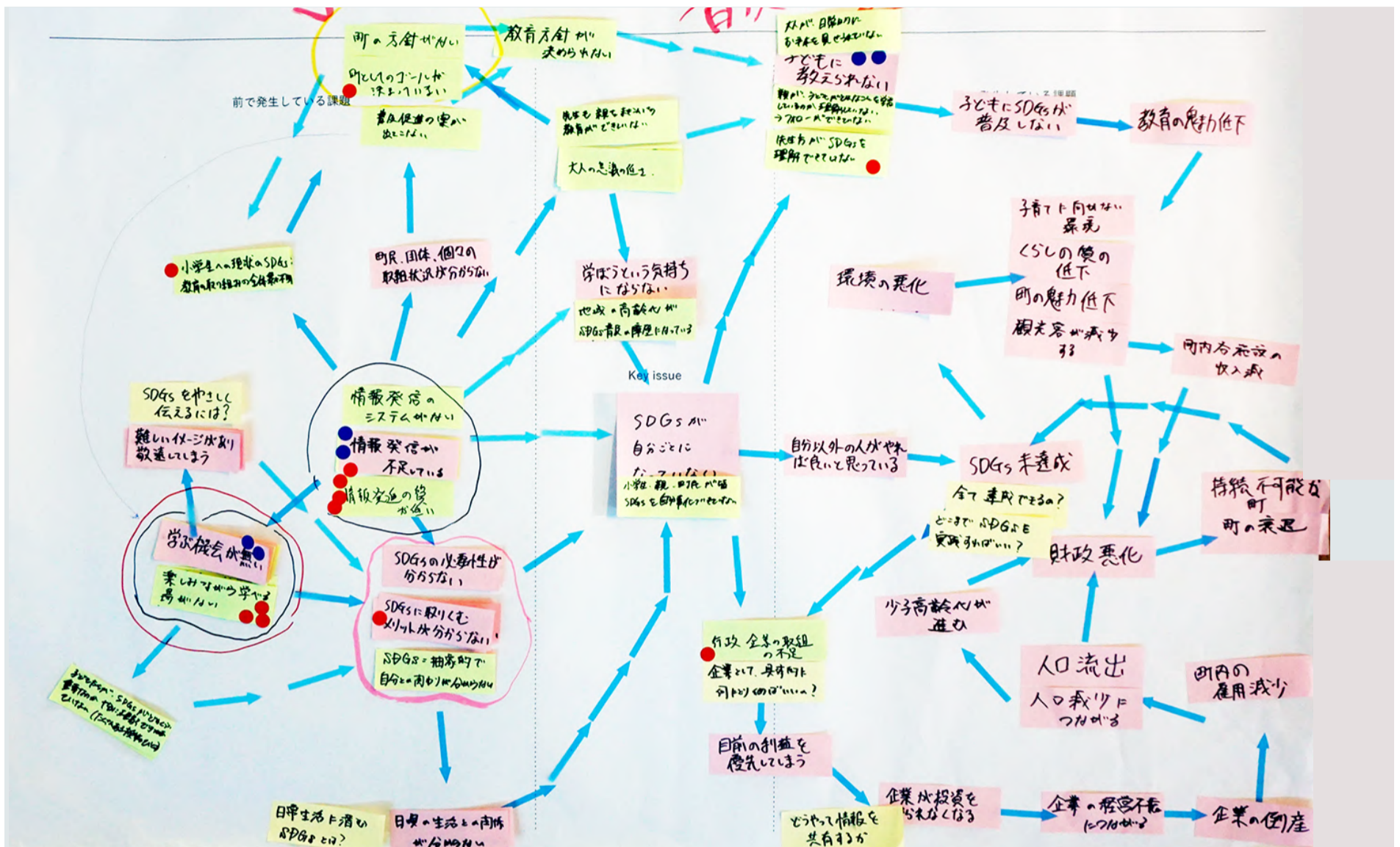
町内の小学生に向けたSDGsの普及促進

自治体名

長野原町

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにとめました。

1 楽しみながら

SDGsを学ぶ場がない

「SDGsを楽しく学ぶ場」を提供する機会の少ない小学校が、SDGsに関心の高い企業や団体、行政、他の学校と連携して、SDGsを遊びやゲーム感覚で学ぶ機会・手段を創出することで、子供達にSDGsへの興味を深めてもらい、日常で何か一つでも行動に移してもらうために、何が可能か？

2

情報発信が不足している
情報発信の質が低い

SDGsに関する情報発信が不足している行政が小学生や、その親、先生等に良質な情報を継続的に発信してSDGsへの理解を深め興味を持ってもらうことで、それぞれがSDGsに取り組む時に自身を周囲に発信して更に深めていくために、何が可能か？

3

SDGsの必要性・メリット・自分との関わりがわからない

日常業務が忙しく、SDGsを理解する余裕のない先生がそれほど負担とならずにSDGsを学んで理解し、子供達にSDGsの必要性を伝えることで子供達が主体的にSDGsに取り組んでいく機運を高めるために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

| | | | |
|---------------------------------------|---|-------------------------|--|
| <p>劇的！！ 見える化 ビフォーアフター</p> | <p>今年度中に公共施設でゴミ箱のゴミがどのようにリサイクルされるか見える化したり、リサイクル先を提示する仕組みをつくる。</p> | <p>町内資源を FULL活用</p> | <p>小・中・小学性を対象として、行政や民間事業者を通し、再生可能エネルギーなどの取り組み教育を行う。体験学習や校外学習をメインに自然との関わり方を学び、SDGsの学びの普及を促進させる。</p> |
| <p>地元産の廃棄 予定の野菜等 を使った調理実習</p> | <p>来年の秋頃、小学校の調理実習室で、地元の農家、行政に協力してもらい地元産の廃棄予定の野菜等を使って調理実習を行う。</p> | | |